

目標達成計画

作成日: 令和 5年 12月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	個人情報保護、プライバシー保護の違いの理解が不十分 「その人の尊厳を保持する」ということには、日々の生活の中で、利用者のプライバシーも守るという意識を持ってほしい	個人、個人を大切にし、その人の尊厳保持に努める	事業所の介護サービス提供マニュアル等を利用し研修会で必要な配慮を具体的に学ぶ。 法令遵守、プライバシー保護、個人情報保護などを定期的に研修する。 ユニット会議で個人のケアを検討する	12ヶ月
2	35	災害に対して、危機感が持てなくなってしまうがちである。 一人一人をどのように避難させるかが明確でない。 避難時のイメージができてない	各災害を想定して、避難訓練を定期的に計画する(地震、家事、水害など)	夜間の避難訓練を事業所の研修会時に計画する 利用者も無理なく参加出来る方に協力を依頼する。	12ヶ月
3	6	昨今の外部侵入者の犯罪がある事を理解し警戒心を持つ必要がある。 事故防止に必要な環境整備の検討を利用者一人一人に行う必要がある。	安全・安心な生活環境を整備する	外部からの侵入者の犯罪防止の為防犯カメラを設置するが、二次的目的として虐待防止、転倒などの事故原因の把握をし、再発防止に努める。 そのことについては家族に十分な説明を行う	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。